

町の人材不足解消のために 特定地域づくり事業協同組合制度

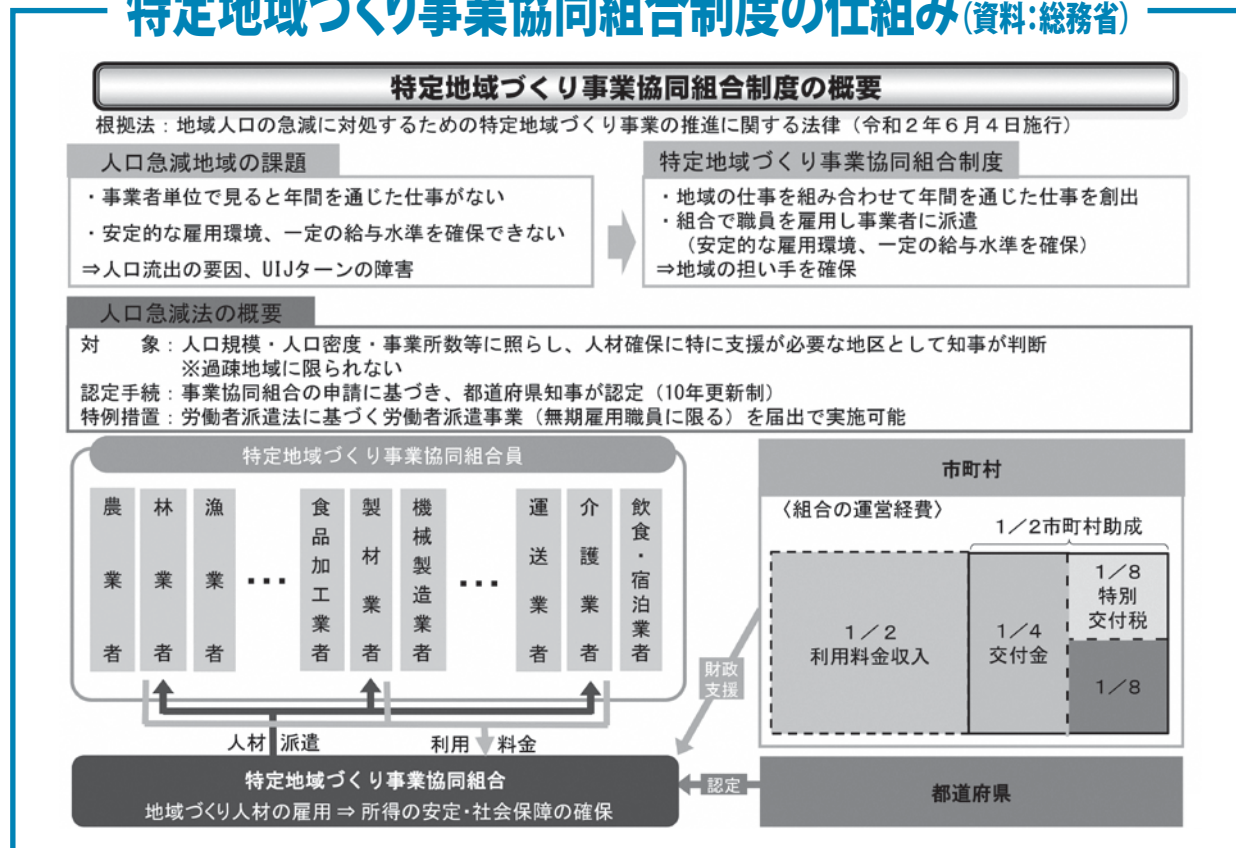
只見町では、様々な職種・場面で人材不足が課題となっています。そこで、特定地域づくり事業協同組合制度に取り組むことで、課題解決につなげたいと考えています。

特定地域づくり事業協同組合制度とは、人口急減地域の事業者が、事業協同組合を設立し、組合が雇用した職員（地域づくり人材）を組合員に派遣する制度です。業種の異なる複数の仕事を組み合わせることで通年の雇用を生み出すことが出来る仕組みです。

また課題解決の第1歩として、1月25日、特定地域づくり事業協同組合制度の勉強会が行われ、個人事業主を含む11事業所が参加しました。



特定地域づくり事業協同組合制度の仕組み (資料:総務省)



特定地域づくり事業協同組合が設立されると

事業者（組合員）…繁忙期や人手が足りないといった事業者や小規模事業者でも人手の確保が可能になります。

若者・移住者（地域づくり人材）…通年の安定した収入や社会保障が得られ、地域を支える様々な業種を経験でき、キャリアアップにつながります。

今後は、事業者や関係団体や町で協議・調整が行われ、事業計画などの作成や認可手続き等が設立に向けて行われる予定です。

新成人からのメッセージが届きました!

新成人の皆様、ご成人おめでとうございます。

今年度の成人式は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となり、新成人の皆様、保護者の皆様は本当に残念な心情であるとお察しいたします。

式典は中止となりましたが、「新成人からのメッセージ」を募集したところ、菅家和浩さんからメッセージをいただきましたのでご紹介します。

今 20 年振り返ると多くの方々と只見で関わりを持つことが出来たと感じます。家族をはじめ自分の担当をしてくださった先生方、スポ少や太鼓の活動など多くの方々に支えられてきました。

昨今の情勢により医療従事者をはじめ多くの方々に支えられて日々過ごしているということを改めて感じました。

『感謝』の思いを常に持ちつつ、今後多くの方々の支えになれたらと思います。

菅家和浩

新成人の方に ねっかが届きました!

このねっかは、「18歳の酒プロジェクト実行委員会(事務局：合同会社ねっか)」が企画したもので、南会津高校・只見高校の3年生を対象に卒業前の思い出作りとして、酒米づくりと酒の仕込みを体験し、出来あがった酒は成人した時にプレゼントされるというものです。

受け取った新成人のひとは、「1本は家族と楽しんで、もう1本は同級生と会えた時に飲みたいです。」と話してくれました。



令和2年度 芸術文化・スポーツ優秀選手賞表彰 第44回只見町町民文芸コンクール表彰

「令和2年度 芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞」と「第44回只見町民文芸コンクール」の受賞者が決定しました。受賞者は以下のとおりです。
なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために式は行わず、表彰状は送付となります。



令和2年度

芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰者(敬称略)

〔芸術文化賞〕

- ▽梁取昊(朝日小2年) 〓 令和2年度歯科衛生図画・ポスター・書写・標語コンクール(図画の部) / **最優秀賞**
- ▽只見中学校(大川桃果・山本愛佳・栗城溪人・三瓶心乃花) 〓 第7回全国海洋サミット / **優秀賞**
- ▽山田夢空(只見中3年) 〓 第60回国際理解の国際協力のための全国中学生作文コンテスト / **佳作**
- ▽只見中学校(山本愛佳) 〓 第2回ユネスコスクール北海道・東北ブロック大会ポスター発表部門 / **最優秀賞**
- ▽五十嵐葵(只見中2年) 〓 令和2年度中学生「税に関する作文」 / 福島県法人会連合会会長賞
- ▽菅野陽翔(只見中2年) 〓 令和2年度中学生「税に関

する作文」 / 福島県南会津地方振興局長賞

大会 / クロスカントリーリレー 1 県 1 位

- ▽大川桃果(只見中3年) 〓 朝河賞一賞 / **最優秀賞**
- ▽只見中学校(角田愛莉・青山日菜花・伊藤太久摩・目黒羚) 〓 第2回小中学生まちづくり大賞(ふくしまジュニアチャレンジ) / **最高賞(グランプリ)**
- ▽目黒楓華(只見高3年) 〓 第40回福島県川柳賞 / **青少年奨励賞**
- ▽三宅実美(只見高2年) 〓 第40回全国高校生読書体験記コンクール(福島県選考会) / **優秀賞**

〔スポーツ優秀選手賞〕

- ▽只見中女子クロカン部(山内ひかり・岩佐乃杏・梁取ななこ) 〓 第62回福島県中学校体育大会スキー大会 / **クロスカントリーリレー 1 県 1 位**
- ▽只見中女子クロカン部(山内ひかり・岩佐乃杏・梁取ななこ) 〓 第62回福島県中学校体育大会スキー大会 / **クロスカントリーリレー 2 位**
- ▽鈴木来菜(南会津高1年) 〓 第62回福島県中学校体育大会スキー大会 / **アルペン大会 / アルペン大会 / ヤイアントスラローム 1 位 / アルペンスラローム 2 位**
- ▽新國太陽(若松商業高2年) 〓 令和2年度福島県高等学校新人体育大会会津地区大会剣道競技 / **男子個人 会津 1 位**
- ▽只見高バレーボール部(星佑奈・三瓶楓) (只見高校) 〓 第3回只見カップ / **ビーチバレーボール女子 1 位**

島県中学校体育大会スキー

〓 只見中男子クロカン部(山内大暉・菊地琉巧・大竹優真・鈴木詠大) 〓 第62回福

第44回只見町民文芸コンクール入賞者(敬称略)

【作文部門】

- ◎小学生下学年の部
 - ▽入選／五十嵐慶伍(明和小2年)
- ◎小学生上学年の部
 - ▽特選／角田杏(明和小4年)
 - ▽入選／大東芽生(明和小4年)、矢沢悠樹(明和小5年)▽佳作／目黒夏穂(只見小6年)、山内椿(明和小6年)
- ◎中学生の部
 - ▽入選／渡部柊(只見中1年)
 - ▽佳作／増田司(只見中1年)、矢沢実優(只見中1年)

【詩部門】

- ◎小学生下学年の部
 - ▽入選／岩佐朱乃(朝日小1年)
- ◎小学生上学年の部
 - ▽入選／三瓶蒼有介(明和小6年)
 - ▽佳作／齋藤珀(只見小4年)、目黒夏穂(只見小6年)
- ◎中学生の部
 - ▽特選／河原田茜音(只見中2年)
 - ▽佳作／目黒悠斗(只見中2年)、梁取ななこ(只見中2年)

【短歌部門】

- ◎小学生下学年の部
 - ▽入選／長谷川来々(只見小3年)
 - ▽佳作／増田琉気(只見小2年)、三瓶成翔(只見小2年)、酒井乃愛(只見小3年)
- ◎小学生上学年の部
 - ▽特選／渡部仁奈(朝日小)
 - ▽佳作／菅家一晟(只見小3年)
- ◎中学生の部
 - ▽特選／湯田桜杏(只見小5年)、馬場由麻(朝日小6年)
 - ▽佳作／大竹杏奈(只見小5年)、新國菜々香(只見小5年)、長谷部優歌(只見小6年)

◎一般の部

- ▽特選／新國洋子(只見)
- ▽入選／齋藤由美子(大倉)、目黒富子(黒谷)
- ▽佳作／菅家ミヨ子(只見)、渡部ユキ子(福井)
- ◎小学生下学年の部
 - ▽特選／目黒美結(朝日小3年)
 - ▽入選／三瓶れん(朝日小3年)
 - ▽佳作／渡部結羽(只見小1年)、菅家一晟(只見小3年)
- ◎小学生上学年の部
 - ▽特選／佐藤翔(朝日小5年)
 - ▽佳作／齋藤珀(只見小4年)、菅家凛々(只見小5年)、山内丈大(明和小5年)

◎中学生の部

- ▽入選／鈴木莉子(只見中3年)
- ▽佳作／佐藤静香(只見中3年)、三瓶奨悟(只見中3年)
- ◎高校生の部
 - ▽特選／小勝高大(只見高3年)
 - ▽入選／梁取結花(只見高3年)
 - ▽佳作／馬場菊(只見高2年)、酒井美来(只見高3年)
- ◎一般の部
 - ▽特選／酒井洋子(坂田)
 - ▽入選／目黒レイ(只見)
 - ▽佳作／三瓶淑子(大倉)

※該当のなかった部門及び賞については記載しておりません。

年始めの安全祈願

只見町消防出初め式が行われました

1月9日、朝日振興センターで令和3年の「消防出初め式」が行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、規模を縮小しての開催となりましたが、式の前半では今年1年間の無火災祈願と、危険の伴う現場で活動する消防団員、関係者等の安全祈願が行われました。

その後は、渡部町長と目黒邦友消防団長より訓示があり、出席者の皆さんは決意を新たに、地域防災・防火に対する意識を高めました。



▲地域の安全のために決意を新たにする消防団の皆さん

インフルエンザ予防接種

町民の約半分以上の方が接種

町では、昨年10月から今年1月末までインフルエンザ予防接種に係る費用の補助事業を実施しました。今冬は、新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスの同時流行・感染が懸念されています。同時感染の場合、重症化の危険があり、予防接種を多くの方に受けていただくよう実施したものです。

1月15日現在、接種率は54%で半分以上の方が接種済みです。

引き続き、感染予防対策として、手洗い・うがいやマスク着用に心がけてください。

正しい手の洗い方



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

▲広報ただみ2020年9月号P3で手洗いの仕方を紹介しています。ぜひご覧ください。

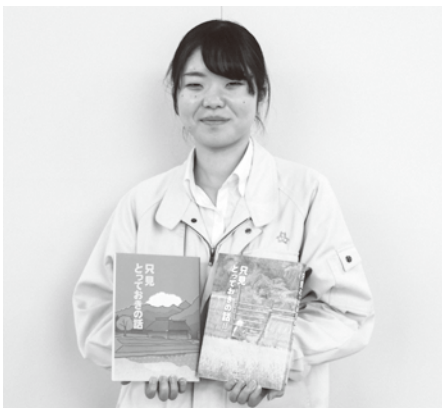
只見の自然・歴史・文化を「冊」に

「只見とつておきの話II」が刊行・販売されました

「町史とつておきの話」を再編した「只見とつておきの話II」が昨年12月に刊行し、町内全戸へ配布されました。本誌は、「只見町でマトンが食べられるようになった理由」や「只見町最古の土器」等の話が収録されており、只見町を深く知ることが出来る一冊となっています。

また、1月より米屋書店、季の郷湯ら里、只見町観光まちづくり協会で購入できるようにになりました。

なお、郵送販売については、米屋書店へお問い合わせください。
 (☎) 82-2788 / FAX 82-3435



▲前作「とつておきの話」も販売中です。この機会にご覧ください。

青少年健全育成主張中止

児童・生徒の想いを広報ただみ紙上で発表します

例年1月に開催している「青少年健全育成主張大会」が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、中止となりました。

発表を予定していた皆さんの主張を3か月に分けて広報ただみ紙上でご紹介いたします。青少年の主張に耳を傾け、健全育成にご理解ご協力をお願いします。今月は3小学校児童の主張を次ページより紹介します。

発表予定者

はせべ しょうが 長谷部 優歌	さん	只見小学校6年	成長し合う私たち
さんべ 三瓶 つかさ	さん	朝日小学校6年	守り、受け継ぐ
やまうち つばき 山内 椿	さん	明和小学校6年	将来の夢
ますだ つかさ 増田 司	さん	只見中学校1年	できることから始めよう
おぬま かずは 小沼 和葉	さん	只見中学校2年	受け継ぐことと繋いでいくこと
おおたけ みお 大竹 未桜	さん	只見中学校3年	かりる責任・かえす責任
やまうち しょうと 山内 友斗	さん	只見高等学校1年	闘い続ける球児たち
こすげ たけと 小菅 岳人	さん	只見高等学校2年	わたしの目標～生徒のために～
ぬまた さき 沼田 彩希	さん	只見高等学校2年	はらぺこ保育



只見小学校6年生
はせべゆうか
長谷部優歌

成長し合う私たち

意味です。私たちは一人一人がこの学級目標を意識して、毎日を楽しく生活することができていました。

しかし、このクラスにもトラブルが発生してしまいました。それは、「人や場所によつて態度が変わる」ことが目立ってきたということです。初めはそれを見て見ぬふりをして過ごしていましたが、日に日に違和感が大きくなってきてしまいました。今まで、お互いに「これを言ったら嫌われるんじゃないか」とか、不安な気持ちや、遠慮する気持ちが先に来

てしまつて、注意することを、みんなで避けてきてしまつていたのです。その結果、クラスに小さな溝ができてしまつていたのです。そんなある日先生に、

「クラスの雰囲気違和感を感じます。」

「ありがとう。ごめんね。」
私たちのクラスでは、いつもこの言葉が聞こえています。心がぼかぼかする温かい言葉が飛び交うこのクラスの学級目標は「親責考区」です。親は、親しみやすく親切に、責任は何事にも責任感をもつて行動する、考は何事にも考えて行動に移す、区は生活にメリハリをつけるという

「向上心」などの合言葉を意識して生活を送っています。まだまだ小さなトラブルはあるものの、その度に声をかけ合い、それを素直に聞き入れることができています。今では、以前よりも笑顔が増え、温かい雰囲気に包まれています。

私はこのクラスから大きな影響を受けています。実は、以前まで私はあまり運動が好きではありませんでした。しかし、このクラスの友達は、いつも楽しそうに運動をしていました。みんなで声をかけ合つて、励まし合いながら頑張っている姿を見ていたら、自然と私も運動に対して、一生懸命取り組めるようになってい

ました。この影響は、勉強面でも同じでした。私が問題を解けずに悩んでいると、すぐに友だちが助けに来てくれます。そして、私が理解するまで、丁寧に優しく教えてくれるのです。おかげで今では、たとえ難しい問題に直面しても、粘り強く前向きに取り組むことができるようになりました。

このように私が変われたのは、まぎれもなくこのクラスのおかげです。私のクラスは、何事にも全員で、粘り強く協力し合いながら、頑張ることがができます。クラス全体に向上心や相手軸の輪が広がってきています。さらに、私がこのクラスで一番好きで、

「受容」常に成長していこうとする

自慢できるところが他にもあります。それは「笑顔」「明るさ」「優しさ」です。毎日、みんな笑顔で、「おはよう。」とあいさつを交わして、一日がスタートします。当たり前のことかもしれないませんが、この笑顔の明るいあいさつは、不思議な力をもっています。今日も一日頑張ろうと思う元気をもらえるのです。他にも、「ありがとう。」の言葉もたくさんあふれています。何気ないことでも、自然にこの言葉がかけ合えるこのクラスはやっぱりすてきだし、自慢のクラスです。

このような当たり前のコミュニケーションを、笑顔でみんながやり続けていけば、いずれ、クラスだけでなく、学校が、地域が、どんどん明るくなり、笑顔の輪が広がっていくと思います。

最後に、私をここまで成長させてくれた、この最高の仲間と出会えた奇跡に感謝して、残りの小学校生活を過ごしていきたいです。これからも私たち十人は、みんなで手を取り合い、高め合いながら成長し続けていきます。



朝日小学校6年生

さんべ

三瓶つかさ

守り、受け継ぐ

私は総合的な学習の時間の授業で、未来の只見町について考える学習をしました。只見町のことについてインタビューで調べたり、役場の方々にインタビューをしたり、いわき市の小学生にアンケートをとったりしました。学習を進めている時、私はいつも「なぜ只見町は栄えないのだろう。」と思っていました。自然はすごく美しいと思いますし、犯罪や目立った事故

などありません。近所の人はみんな優しいし、食料品も買えます。しかしみんな大人になると、只見から出ていってしまうそうです。その大きな理由として、「お店が少ない」と大人の方々が考えているからだと思います。実際、私たちが総合的な学習の時間の授業で、只見町の抱えている課題を予想するときも、クラスのほとんどの人から同じ意見が出ました。しかし役場の方にお店についてインタビューした際、お店の数はけっこう多いことが分かりました。だから私は「お店が少ない」というよりは、「お店に売っている物の種類が少ない」のではないかと考えます。大きなデパートには、例えばトイレットペーパーだけで十数種類も売っています。只見町のスーパーではたくさん種類は扱っていません。大きなデパートであれば買い物は一ヶ所で済みますが、只見町ではお店を何カ所か回らないと用事が済まないことが多いです。このようない理由で大人の方々は不便を感じているのではないかと私は考えます。しかし役場の方は

「小さなお店でも、只見の人がたくさん買い物をして、たくさんお金が入れば、いずれは大きなお店になる。」とおっしゃっていました。このことを

住民の方々に広めれば、町がお金をかけなくても大きなお店になるのではないかと思います。「ちりも積もれば山

となる」という言葉もあるように、私たち只見の人たちの力で只見町をにぎわいのある町にしていきたいです。

また私たちは授業で、只見町の課題だけでなく、只見町の良さについても考えました。するとクラスの多くの人から「自然が豊か」という意見が出ました。私もそう考えていました。そしてみんなで話し合いをする中で、私は「只見町の良さを守っていききたい」と思うようになりました。

そこで私は、次の二つを守っていききたいと考えます。一つ目は「只見の自然」です。只見町は二〇二四年にユネスコエコパークに登録されました。ユネスコエコパークとは、豊かな生態系を有し、地域の自然資源を活用した持続可能な経済活動を進めるモデル地域のことです。自然保護と地域の人々の生活とが両立した持続的な発展を目指しています。この「自然保護」という言葉にもあるように、只見町は昔から美しい自然が保たれており、これからも保たれるべき地域としてユネスコエコパークに登録されたと思います。只見の自然は他では決して見ることでできないものだと思います。只見町の未来を担うのは私たちです。そして自然を守っていくのも私たちです。私はこれからも、私たちが育ててくれたこの美しい自然を守っていききたいです。

二つ目は「只見の伝統」です。私の

祖父は川で魚を釣ったり、きのこや山菜を採ったりしています。それらを家に持ち帰り、祖母が干したり、つぶしたり、焼いたりして、私や妹、弟と食べます。しかし今、こうして釣った魚や山から採ってきたきのこや山菜を食べる人が減っているそうです。私は近所の家で、ゼンマイが干してあるところを見たことがあります。しかし、若い人が住んでいる家では見たことがありません。私はそのような伝統を受け継ぐことも只見町の未来につながるのではないかと考えます。だから私も只見町の自然を生かした伝統を引き継ぎ、町外の人たちにも伝えていきたいです。

それでも自然を壊し、新しいものをつくりたいと言う人たちがいるかもしれません。しかし自然を壊してしまうと、大好きな只見町が変わってしまう気がするし、先代から受け継がれてきた自然は大切に守っていかねければならないと思います。自然がないと釣りや山菜採りなどの伝統を引き継ぐこともできません。また、日本の都会にはビルや住宅が並び、生活は豊かかもしれませんが、美しい自然を見ることはできません。自然に囲まれた只見町の方が、美しいわが国「日本」という感じがします。私は自然を守り、伝統を受け継ぎ、只見町をみんなから愛される町にしていきたいです。

将来の夢



明和小学校6年生

やまうちつばき
山内椿

す。また、私の亡くなった祖母もきつかけの一つです。祖母は鼻から酸素を吸って生活をしていました。そんな祖母の姿を見ていて、私が看護師になったら、祖母のような病気の人の力になりたいと思っています。

私は今年、登校班の班長になりました。私の班は、毎日バスで登下校しています。下校のとき、一年生の家の人がバス降り場にはいないときがありました。どうしたらよいか迷ったのですが、私は、その子の家まで送ってあげることになりました。そのとき、最高学年として、下学年の子の助けになれたと感じ、自分の理想の姿に近づいているなと感じました。

一方、私は人前に出るのが苦手だなと感じることがあります。でも、この主張大会に立候補したり、運動会で白組の代表になったりと自分から前向きにチャレンジできるようなってききました。初対面の人と話すことなどまだまだ苦手なことはありますが、看護師になりたいという夢に向かつて少しずつ成長していると思います。

私は、将来只見町にもどつてきて、看護師として働きたいと考えています。でも、正直に言うと、今の只見町のままなら、戻ってきたとは思いません。なぜならば、病院の設備が整っていないと思うからです。只見

町では、手術をすることもできないのです。手術が必要な人は、みんな会津若松などの都市部へ行くしかありません。もし只見町の病院に手術室があり、手術ができる医者がいれば、高れい者の方や体の弱い方が長きよりの移動をすることもなくなります。そして、住み慣れた場所で治りようをすることで、病気も良くなるのではないのでしょうか。町に病院があり、しつかりとした医りようを提供できるということは、町民に安心を与えることにつながると思います。

高れい者だけではなく、町民みんなが安心して只見町で生活することができれば、他の地域の人も只見町に住みたいと思ひ、人口も増えるのではないかと考えたからです。将来、私が看護師になったころ、只見町の病院が今よりも環境が整つていてほしいと思います。

最後に、私が思う理想の看護師は、しつかりと仕事ができ、かん者さんに対していつでも笑顔で接することができると看護師です。そんな理想の看護師になれるように、勉強をがんばったり、困っている人に自分から声をかけられるようなやさしさをもてるようになりたいです。私は将来、医りようの環境が整つた只見町

で理想とする仕事がいつかりとできて、かん者さんにいつでも笑顔で接する看護師として働きたいと思っています。

